



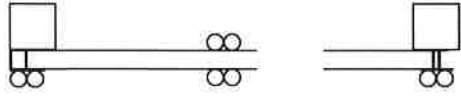
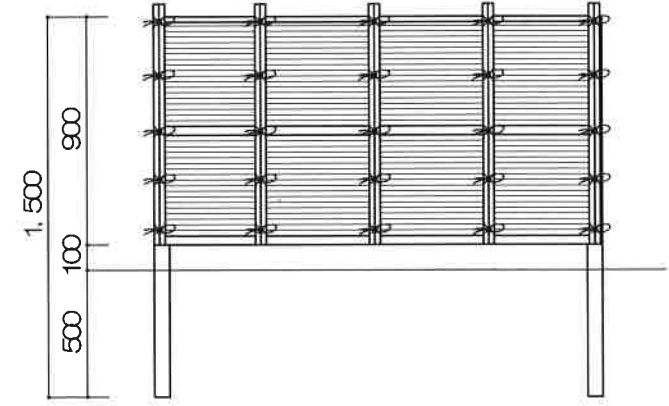
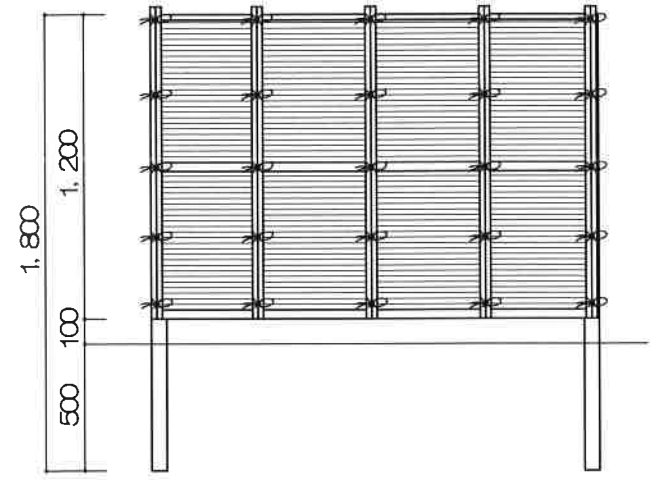
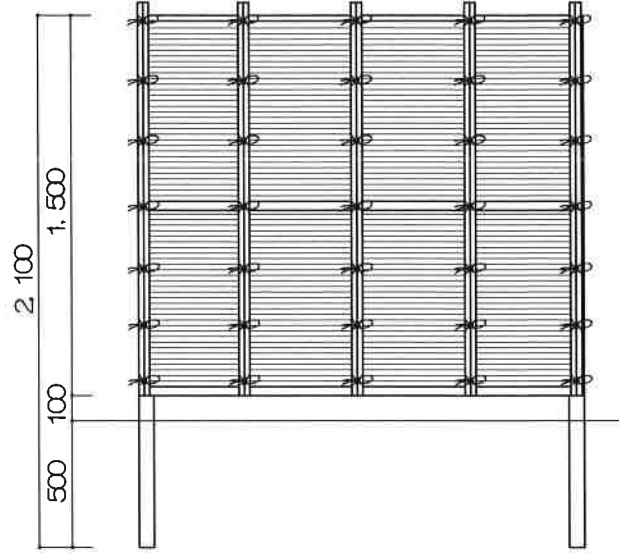
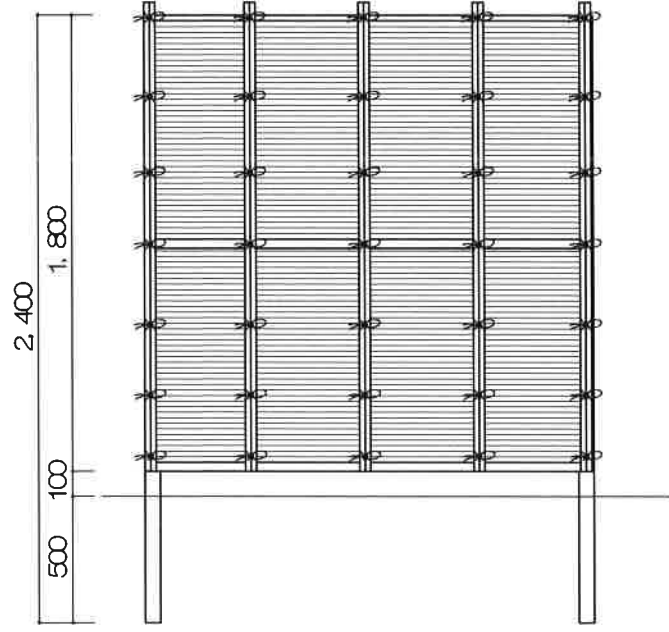


竹垣セット36型 施工マニュアル 部材表
御簾垣（支柱を隠すタイプ）

両サイド・コーナー部分		
支柱を隠す場合	角柱を見せる場合	丸柱を見せる場合
		
胴縁 22 タテミス・キャップ	チャンネル (S) 22	チャンネル (S) 22 丸柱

角柱		丸柱	
支柱	支柱キャップ	支柱	支柱キャップ
			
60角・75角・80角	Aタイプ・Bタイプ	70丸・90丸	Aタイプ・Bタイプ

共通部材				
胴縁  銅縁 22	H型フレーム22  ブロンズ	ポールアルミ芯入  芯入22φ	ポール用補強パイプ  写真：ポールは含んでいません 20φ（もがみ）・22φ	ポール  20φ（もがみ）・22φ
ポールキャップ  20φ（もがみ）・22φ	ステンレスワイヤー  #22 約630mmカット	ステンナベビス 4×16mm  骨組み組立用 ブロンズ [*] ・イエロー・ブラック	ステン特平頭ビス 4×16mm  骨組み組立用 ブロンズ [*]	ステンナベビス 4×40mm  骨組み組立用 ブロンズ [*]
ステンナベビス 4×35mm  立子取り付け用 イエロー・青竹・煤竹・ブラック	ポリ縄  3mm×35m・2kg玉（350m）	ポール芯入とポール用補強パイプは、どちらか選択商品になります。 一般的な御簾垣（支柱を隠すタイプ）の施工部材になります。		



竹垣セット36型

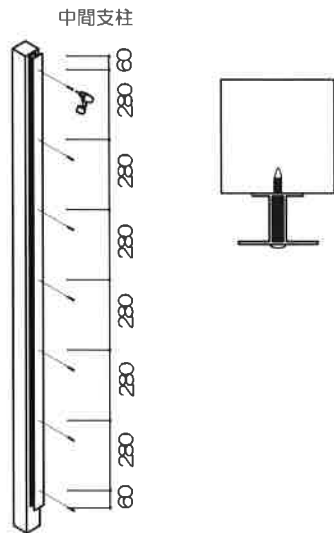
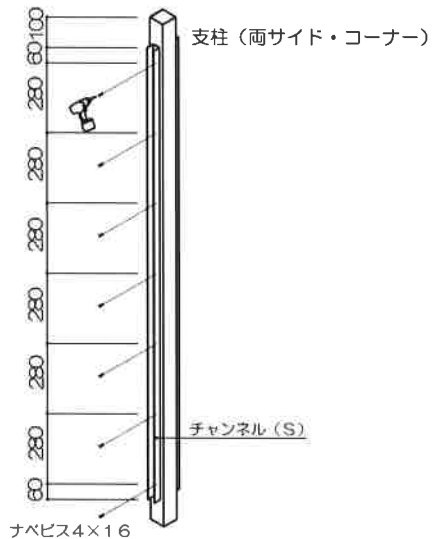
垣根高さH1800・W1800の場合
幅の狭い（ポールが曲らない）場合、別方法になります

① 電動ドライバー



① 支柱設置の前に支柱キャップを付属ビスで
取り付けて下さい。

② 支柱（両サイド・コーナー）を見せるタイプ

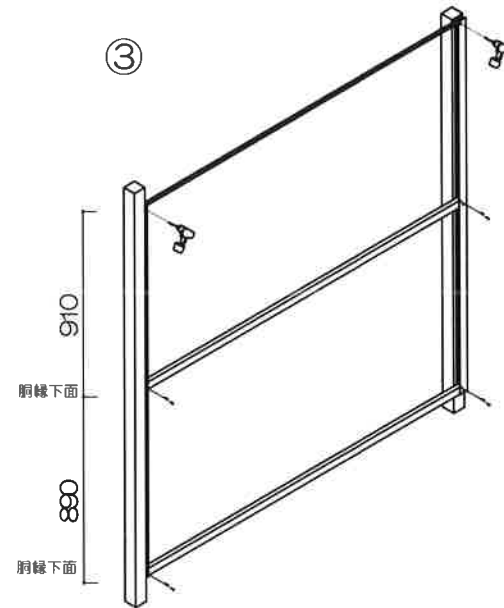


② 支柱設置後、支柱にチャンネル（S）
をナベビス4×16で取り付けます。
（胸縁の位置を確認しビス
位置を決めて下さい。）

支柱設置後、支柱にH型フレームを
ナベビス4×40で取り付けます。
注）ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径（3.2mm）

注）表示寸法に付いては、目安になります。

③



③ H型フレームに胸縁及びポールアルミ芯入
（ポール用補強パイプ・ポール挿入）
を特平頭ビス4×16で取り付けます
（特平頭ビスは、表より対角線上に止めて下さい。）

チャンネル（S）に胸縁及びポールアルミ芯入
（ポール用補強パイプ・ポール挿入）
を特平頭ビス4×16で取り付けます
（特平頭ビスは、表裏対角線上に胸縁のみ止めて下さい。）
最後にチャンネル（S）は、立子をナベビス4×35
（4×40）で取り付け隠します。

注）特平頭ビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径（3.2mm）

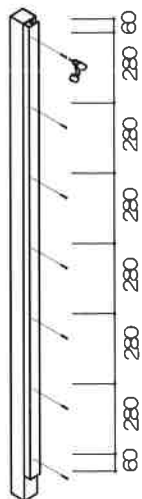


※ 胸縁位置は、ポール22φを基準にしています。
ポール22φ以外は、寸法が異なります。

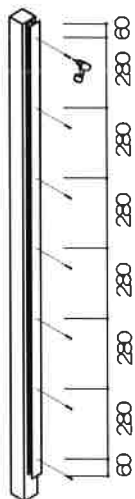
竹垣セット36型

垣根高さH1800・W1800の場合
幅の狭い（ポールが曲らない）場合、別方法になります

② 両サイド支柱



中間支柱



② 支柱設置後、支柱に胴縁22タテミスを
ナベビス4×40で取り付けます。
(胴縁の位置を確認しビス
位置を決めて下さい。)

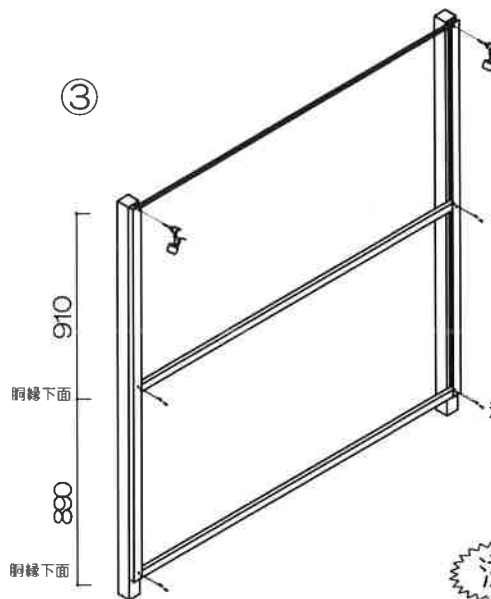
支柱設置後、支柱にH型フレームを
ナベビス4×40で取り付けます。

注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3, 2mm)

(胴縁の位置を確認しビス位置を決めて下さい。)

注) 表示寸法に付いては、目安になります。

③



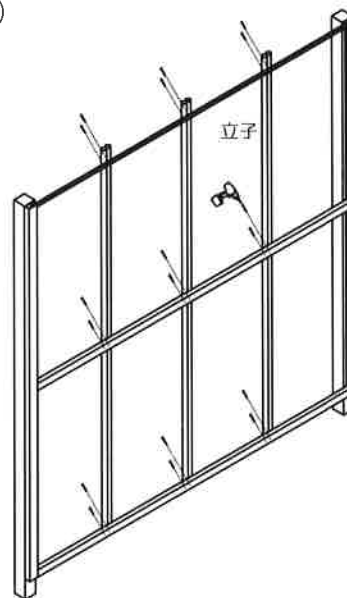
③ 胴縁22タテミス・H型フレームに
胴縁及びポールアルミ芯入（ポール用
補強パイプ・ポール挿入）を
特平頭ビスで取り付けます
特平頭ビスは、表より対角線上に胴縁のみ止めて下さい。

注) 特平頭ビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3, 2mm)



※ 胴縁位置は、ポール22φを基準にしています。
ポール22φ以外は、寸法が異なります。

④

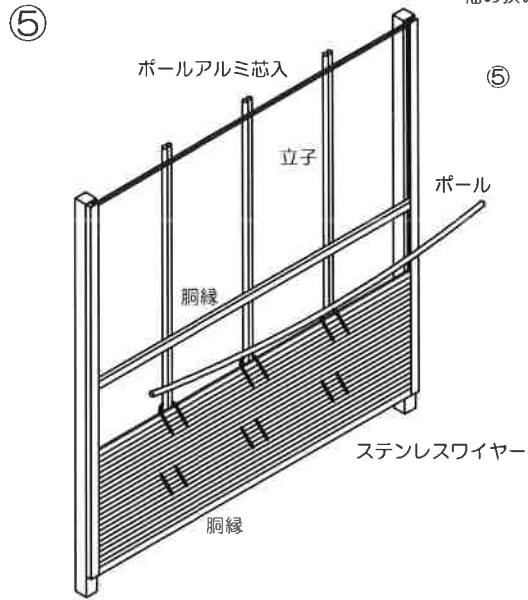


④ 裏面に立子をナベビス4×35(4×40)
で取り付けます。
取付けは、胴縁及びポールアルミ芯入の位置になります。

注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3, 2mm)

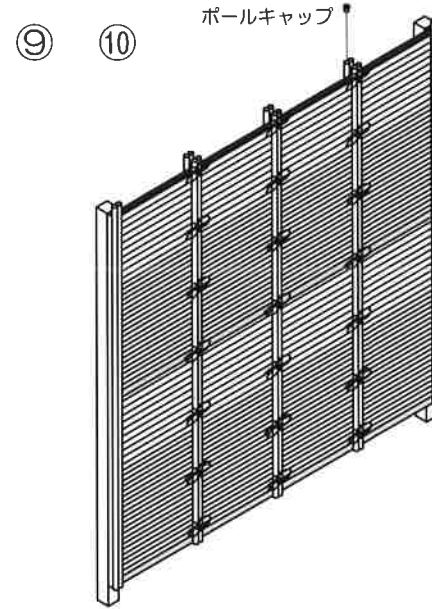
竹垣セット36型

垣根高さH1800・W1800の場合
幅の狭い（ポールが曲らない）場合、別方法になります



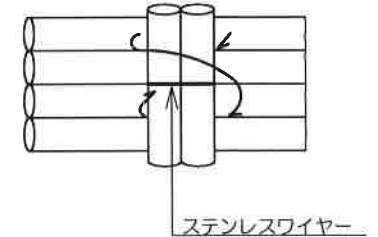
⑤ ポールを曲げながら胸縁2タテミス・H型フレームに差し込みます。

高さ300mmピッチを目安に立子の後ろから飾り紐の位置にステンレスワイヤーを通します。

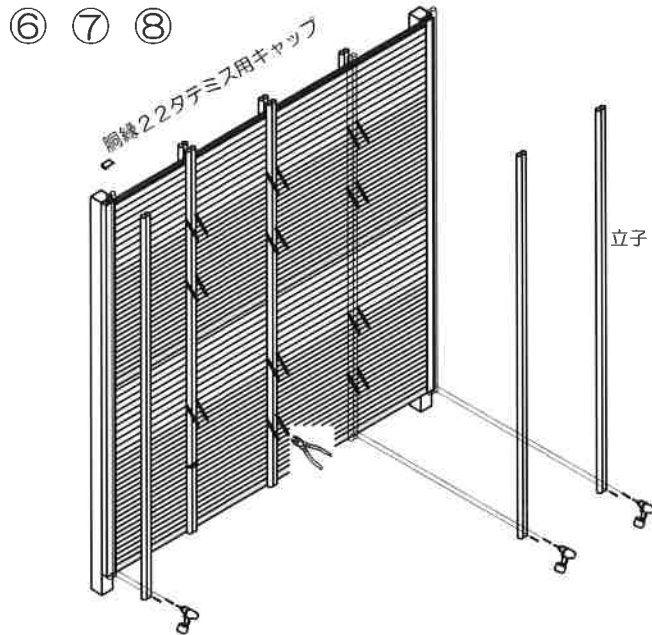


⑨ 立子設置のビス及びステンレスワイヤーの位置にポリ縄を結びます。

（表裏別々に結びます。）



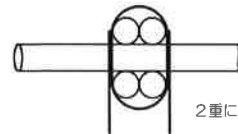
⑩ 立子用のキャップを接着剤などで取付けます。



⑥と⑦の工程を下から順次行ってください。

⑥ 前面に立子をナベビス4×35（4×40）で取り付けます。取付けは、胸縁及びポールアルミ芯入の位置になります。

⑦ ステンレスワイヤーをベンチなどで、ポールのたるみを直しながら下から締め上げます。



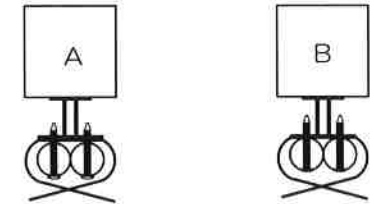
注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。下穴径（3.2mm）

⑧ 胸縁2タテミス及びH型フレームの前面に立子（2本）をナベビス4×35（4×40）で取り付け隠します。

注) 胸縁2タテミス用キャップは、立子取り付け前に行ってください

注

胸縁2タテミス&H型フレーム位置のポリ縄設置方法



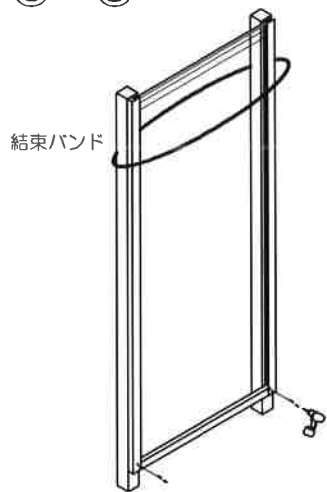
下から順番に、立子をナベビス4×35（4×40）でポリ縄が通せる隙間を開け軽く取り付けます。隙間にポリ縄を通し軽く結びます。（図A）

立子をナベビスで、しっかりと取り付けます（図B）

竹垣セット36型

幅の狭い（ポールが曲らない）場合、別方法になります

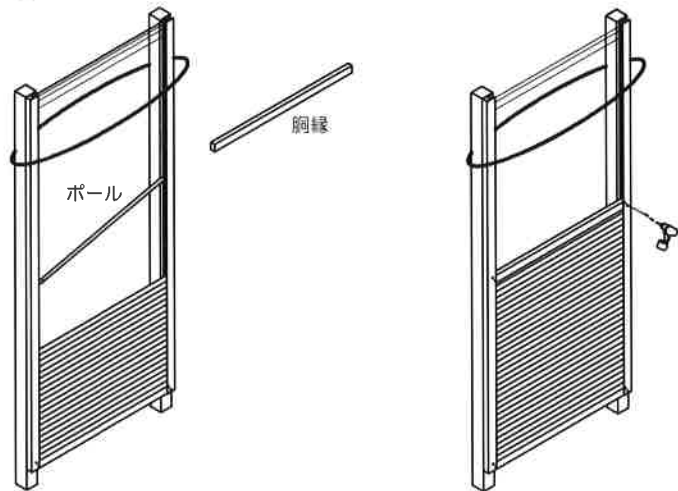
③～⑤



上下幅を揃える為、上部に角材（胴縁）を仮固定します。
幅がずれない様、結束バンド等で固定します。

- ③ 胴縁を胴縁22タテミスとH型フレームに差し込み
特平頭ビス4×16で取り付けます

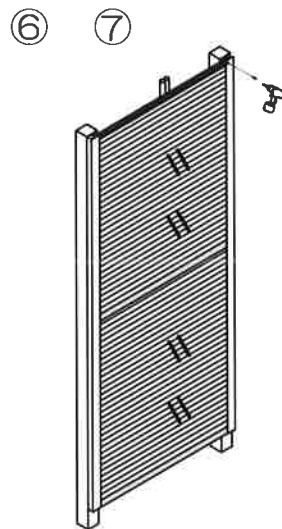
特平頭ビスは、表より対角線上に止めて下さい。



- ④ ポールを中胴縁の位置まで
胴縁22タテミス及びH型フレーム
に差し込みます

- ⑤ 胴縁を胴縁22タテミスと
H型フレームに差し込み
特平頭ビス4×16で取り付けます

注) 特平頭ビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)

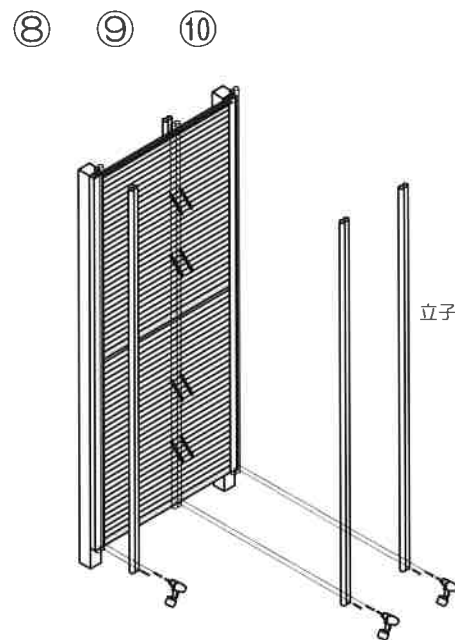


- ⑥ 上部にポールアルミ芯入を特平頭ビス
4×16で固定します。

裏面の立子をナベビス4×35（4×40）
で固定します。

高さ300mmピッチを目安に
立子の後ろから飾り紐の位置に
ステンレスワイヤーを通します。

注) ナベビスで取り付ける際、予め、電動ドリルなどで
下穴を開けてから電動ドライバーで取り付けます。
下穴径(3.2mm)



- ⑧ 胴縁22タテミス及びH型フレーム
の前面に立子（2本）をナベビス4×35
（4×40）で取り付け隠します。

後の作業は、W1800と同じ作業になります